



昭和48年(1973年)生
 1996年 早稲田大学教育学部 卒業
 1996年 凸版印刷株式会社 入社
 2001年 有限会社丸石製作所 入社
 2011年 公益社団法人 三浦青年会議所 第50代理事長
 2013年 三浦市議会議員(一期)
 2015年 神奈川県議会議員 就任
 所属: 自民党神奈川県議会議員団副団長
 かながわ自民党青年総局幹事長
 総務政策常任委員会

①新横浜にて糸糸川大火災害支援募金活動をしました。②三浦市出身たんぼの川村エミコさんと撮影。③市民活動発信イベント「市民活動デイ」に参加④小泉進次郎衆議院議員「0才からの活動報告会」。子どもを連れての演説会、政治をもっと身近に!⑤三浦国際市民マラソン、金メダリスト高橋尚子さんと⑥城ヶ島灯台からの眺め⑦「ともに生きる社会かながわ憲章」チラシ配布を実施⑧三浦市消防本部として最後の消防出初式で挨拶⑨徳島県神山町・美波町を移住政策で視察⑩新消防庁舎完成。4月より消防広域化で「横須賀消防局三浦消防署」になります。



神奈川県議会議員 石川たくみ活動報告 討議資料
かけはし
 すべては三浦のために

Vol. **9**
 2017年4月

神奈川県議会では、経費削減や事務効率化を図るため、ペーパーレス化に向けて今年よりタブレット端末を導入しました。

まちは、皆さんの声によってつくられます。県政に皆さんの声をお届けします。 **FAX: 046 (876) 8708**

三浦への思いやご意見を書いて上記 FAX 番号まで送信下さい!

氏名: _____ 住所: _____ 電話: _____

神奈川県議会 平成29年第一回定例会 2月13日~3月14日

小網代の森 本設トイレ建設や「新たな観光の核づくり認定事業」補助金が事業化されました

2月13日から3月24日まで、神奈川県議会平成29年第一回定例会が開かれました。定例会では、総額1兆9402億3,100万円とする平成29年度一般会計当初予算案などが提案、可決されました。県税収入が前年度より115億円減少するなか、13年ぶりに財政調整基金を取り崩すなどして、どうにか前年度と同規模の予算編成となっています。予算の中では、私が県議会議員に当選以来強く訴えてきました小網代の森の本設トイレ建設費等5,050万円が計上されました。「みんなのトイレ」を含む、7基の木造トイレがいよいよ平成29年度中に設置されることになります。さらに、観光振興施策の一つである城ヶ島・三崎地域の「新たな観光の核づくり認定事業」に対して、県からの補助金として1,750万円が計上されました。かねてから三浦市一体となって要望してきました「(仮称)城ヶ島南部ハイキングコース整備事業」ですが、今後は認可地縁団体である城ヶ島区が中心となり遊歩道周辺の補修整

備などが実施される予定です。この地域は、これまでも県の支援によって海上イケース釣堀や観光案内版の設置、回遊性を向上させる同線整備の一環としてレンタサイクルの拡充と新たな渡船の導入などが行われ、まち一丸となって地域活性化に取り組んでいます。昨年6月の一般質問において、私は「新たな観光の核づくり」に関する県の支援姿勢について知事に問いました。活性化に向けた地元の機運の高まりと補助金の交付継続を求める地域の皆様の声を届けさせていただきました。それに対して知事は、「成果を検証し、今後の事業内容や地元の本気度を見極めて支援を検討したい」との答弁でした。今回、改めて補助金交付が決定したことは、ひとえに地域の皆様の日頃の取り組みが県に評価をされたのだと感じております。今回の補助金の活用によって、多くの方に安心して楽しんでいただき、また滞在時間を長くする環境づくりが前進することになります。

「かながわシープロジェクト」の取り組みについて質疑しました

総務政策常任委員会 2017年2月27日質疑実施

「かながわシープロジェクト」の取り組みについて質疑しました。このプロジェクトは、マリンスポーツやビーチなど神奈川の海の魅力と海洋文化を発信していくものです。

私は、釣りを活かした観光振興に着目し、「トローリング」の可能性について質問をしました。「トローリング」は、船を走らせながら行う引き釣りのことです。

【石川質問】 かながわシープロジェクト第6回のプロデュース会議におきまして、木村太郎さんや、児島玲子さんがトローリングの可能性を議論をされておりました。恒常的に実施することは難しいにしても、イベントや期間限定という形ででも前に進めればと思いますけれども、現在どのような検討が進んでいるのか、お伺いしたいと思います。

【地域政策課長答弁】 トローリングについてですが、神奈川県海面漁業調整規則、こちらを所管いたします水産課に確認いたしましたところ、近隣都県では、千葉県においては、千葉県漁業調整規則によりトローリングは禁止されています。また、東京都及び静岡県においては、「海区漁業調整委員会の承認を受けた場合に限り使用可能」とされておりまして、トローリング大会などに限定して承認されております。その頻度は年に数回ということでございます。本県でございますが、トローリングは、長い釣り糸や釣り針で、漁具を引っ掛けたりすることで、

漁業の操業に支障を来していることから、禁止していることとございました。また、トローリングの解禁については、漁業への影響を懸念している漁業者も多く、解禁するために解決すべき課題も多いと水産課から聞いております。しかし、トローリングは、神奈川の海の魅力を高めるための一つのアプローチになりうると考えますので、先ほど申し上げました「海のレジャーに関するニーズ調査」の中で、トローリングのニーズについても調査してまいりたいと考えております。以上でございます。

【石川要望】 前向きな答弁をいただきました。漁業者への影響というものを重視していただきながら、今後可能性について検討いただきたいと思います。



移住・定住政策について

総務政策常任委員会 3月17日質疑実施

先日、移住・定住の先進地である徳島県神山町と美波町を視察しました。人口減に強い危機感を持ち、若者が集まる施策で国内外から人を呼び、今、全国の自治体から注目を集める町です。

神山町では移住者が増え、ついには住める空き家がなくなり、周辺地域にも住み始めたそうです。さらに地方創生として、子育て世代向け集合住宅の建設が始まるようとしています。芸術家を地域に一定期間招聘し、創作活動を行ってもらう「アーティスト・イン・レジデンス」、地方に事務所の拠点を置く「サテライトオフィス」などに取り組んでいます。人の情報が行き交う「場」が必要だと感じました。そのためには人的受け皿と新しい仕事をつくっていかねばなりません。

徳島県では、移住のワンストップ相談窓口「移住交流支援センター」の設置やアーティスト、IT企業の誘致や創出といった永年の努力が実り、若い人々が集まっているのだと思います。

県の「三浦半島魅力最大化プロジェクト」でも、ITを活用したテレワークの推進を掲げています。都心に近い三浦には、サテライトオフィスに適した場所があるはずで、徳島の事例を参考に、働き方改革や移住促進を積極的に取り組むべきだと要望させて頂きました。

【石川質問】 政府では、全国で今の3倍のサテライトオフィスを増やしていく目標を立てておりまして、地方創生の1つの取組みの大きなものとなっております。視察先の徳島県の自治体では、東京や大阪に営業して回って、サテライトオフィス誘致に取り組んでおりました。

神奈川は、徳島県よりサテライトオフィスに適し、もっと地の利があると思っておりますが、せっかくこの「三浦半島魅力最大化プロジェクト」の中で、「テレワークの推進」と謳ったものですから、現在どのような取組みが進められているのか？今後、是非、移住促進の1つのツールとして利用していただきたいと思いますが、伺います。

【地域政策課長 答弁】 「テレワークの推進」ですが、現在、横須賀市と逗子市で検討を始めております。まず、横須賀市ですが、ICTを活用した場所や時間を選ばない柔軟な働き方である「自営型テレワーク」の普及を図るためのセミナーや講座などを市内の企業向けに開催しております。

また、逗子市は、通信環境やセキュリティ等のオフィス環境が整った共同利用型オフィスである、「テレワークセンター」の設置など、テレワークのモデル事業の実施について、検討する予定であると聞いております。

今後、こういった市町の「テレワーク」の普及・促進

市議会での提言が政策実現！クラウドファンディング導入

クラウドファンディング「みうらっ子応援プロジェクト」事業がスタート！

2014年12月9日に実施しました「三浦市議会 一般質問」におきまして、新しい寄附の形（クラウドファンディングの可能性）について質問しました。その提案が、いよいよ政策実現しましたので、報告させていただきます。

平成29年度スタートする三浦市「みうらっ子応援プロジェクト」事業。

平成29年度のプロジェクト『みうらっ子の安全を守る!』

プロジェクト1：小中学校に防犯カメラを設置!【目標額1,600万】

プロジェクト2：保育園・幼稚園に防犯カメラと安全な遊具を!【目標額700万】

プロジェクト3：公園の遊具を新しく安全なものに!【目標額950万】

みうらっこの安全を守り、安心して子育てができる環境を整えるため、上記プロジェクトにご賛同いただける方のご寄付を募集しています。

◎募集期間：平成29年4月～12月

上記プロジェクトに賛同いただける方の寄付金が目標額に達しないと、事業は実施できません。目標金額に満たなかった場合は、本年度の事業実施はせず、翌年度引き続き募集を行います。

三浦市議会 一般質問 2014年12月9日

【石川質問】 全国から共感を得られる事業内容やプレゼンテーションをすれば、緊急緊縮財政宣言を公表している三浦市として、クラウドファンディングによる資金調達を財源対策として積極的に取り組むことができると考えますが、いかがお考えでしょうか。

【市長答弁】 ふるさと納税とは異なりまして特定の事業に対する寄附ということでございますので、募集するに当たりまして寄附に値する魅力的な事業か否か、そういっ

た課題があるかと思えます。財源対策として非常に有効な手段というご指摘はごもっともでございますので、財源対策検討委員会における歳入増加策の一つとして積極的に取り組んでまいりたいというふうに思います。

【石川要望】 25年度の目安箱において、市民の方から子育て対策として公園の整備を強く訴えられていました。子育て政策は三浦市にとって重要な政策でありまして、クラウドファンディングを利用して全国からのご厚意はもちろん、市民の皆様の賛同やご協力をいただくことで子育て環境整備の費用調達ができるものと考えますので、前向きなご検討をお願いしたいと思います。

今回の取り組みは「ガバメントクラウドファンディング」ともいわれます。自治体の課題を解消するためのプロジェクトの実施にあたり、不特定多数の方々から寄附という形でのサポートを得て、事業を実施するものです。また、ガバメントクラウドファンディングは自治体への寄附となるため、ふるさと納税の対象となります。一般的なふるさと納税と違う点としては、寄附金の具体的な使途が事前に提示されている点です。

【クラウドファンディング みうらっ子応援プロジェクト】

サイト <http://www.city.miura.kanagawa.jp/zaisei/furusatonouzei/project.html>



が進めば、移住を促す要素になると考えております。

国の地域再生計画認定を受ける中ですね、市町の、この移住促進事業、交付金を活用しながら、進めていくことが可能となってきますので、市町において、そうした取組みを進めていただくとともに、県といたしましては、市町のテレワーク推進の取組みを「半島ライフ」として広く情報発信するなどして、三浦半島への移住促進を図る取組みを進めていきたいと考えております。

